

## USHA JAPAN 第39回議事録

開催日時：2023年8月19日（土）15:00～15:45

開催場所：Zoom

議長：酒井

書記：苗村

出席者：酒井、神崎、河田、富田、苗村

（順不同、敬称略）

### 1. 報告事項

#### 1) 活動の進捗状況

ジェンダーの平等と人権教育に向けての構想について現状報告（河田、苗村）

#### ・ジェンダーの平等と人権教育に向けた取り組みについて進捗状況の報告

ジェンダーの平等と人権教育に向けて、妊孕世代にある在日ネパール人のニーズ・SDGsの目的に応じ、適切な知識の提供ができるよう教育媒体の作成が必要であると考え取り組んでいく。内容としては、日本で生活する上で必要となる生活情報、リプロダクティブヘルス・ジェンダーの平等・人権に関するテーマを扱いわかりやすい日本語を用いて動画等の媒体を作成していく予定。テーマ：避妊方法（緊急避妊薬）、妊娠・出産・中絶方法、不妊治療に関するもの、それらに関連する関係法規・費用・補助金・サービスに関する情報、包括的性教育内容について発信していく予定である。（河田）

・外国人技能実習生や留学生からの相談内容の中で多いのは「在留資格について」、「給料の未払いや解雇といったパワーハラスメントに関して」、「デートDVについて」、「子どもの今後について」の内容が多く、ニーズや優先順位を考えた媒体の作成・発信が必要である。（苗村）

#### 2) 異文化適応に関するプログラムについて発表（酒井、富田）

・リプロダクティブヘルスの視点も重要であるが、トランスカルチュラルケアリングも必要であり、異文化適応に関する視点が重要である。健康科学に基づいた包括的性教育についてのニーズも高い。学問的な基盤があるサポートを目標に行っていく必要がある。（酒井）

・ネパール人技能実習生は異文化適応の過程においてセクシャリティにおける課題を抱えやすい可能性を考慮し、集団支援として包括的性教育を実施し、異文化適応・行動意識の変容に向けたアプローチを行っていく予定である。（富田）

#### 3) 団体事務局の進捗状況と今後の活動予定（神崎）

・ホームページ、寄付サイトについて寄付サイトと会員入会ページの作成依頼をしている状況であり、2023年10月頃に寄付サイト開始予定。今後の活動予定に関しては途上国支援団体を対象とした活動助成を公募している企業や財団へのアプライを目標にしていくこと、引き続いて法人化への移行作業を進めていく。日本財団に関しては随時相談という対応になるため、活動の進捗状況に応じて考える。

・会費徴収の時期と値段について、運営や活動が可能な範囲を吟味し決定する必要があり、現行の金額では運営が厳しいため、役員の会費に関しては臨時総会を開催して審議し可決を採る予定である。

#### 4) 渡航報告（酒井）

・村の情報として、ネパールでは健診・分娩に関してコミュニティベースとなる傾向が見られ、高機能なエコーや分娩台がヘルスポストへ導入されているワードもある。日本語学校訪問では、日本語教育に加えて様々な技能に係る知識の提供がなされている。分野別にみると最も多くを占めているのは介護分野、その他産業・工業・農業・ホテルマネジメントに関する需要がある。

心身の健康が維持できないと解雇されるという認識を持つ者が多く、基本的な人権が守られる事への意識の乏しさを感じる。健康管理に関する自己管理能力を強化する教育と、正しい知識の提供が欠かせない。また、日本語学校へ入学するための教育費を捻出できない貧困層に向けた支援も検討していく必要がある。

## 2. その他（苗村）

- ・ SNS のアカウントを開設し、団体や活動内容についての発信も今後行っていく予定にしている。

次回定例会予定 2023 年 9 月 16 日（土）15 時～

以上